

管内月間火山概況（平成 23 年 5 月）

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（5月31日現在）

火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）	：霧島山（新燃岳）、桜島
火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）	：阿蘇山、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）	：九重山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、 口永良部島
噴火予報（平常）	：阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、 福江火山群、米丸・住吉池、 池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山に導入されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。次回の管内月間火山概況（平成 23 年 6 月分）は平成 23 年 7 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、独立行政法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、鹿児島県及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項

阿蘇山では、16 日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（平常）から 2（火口周辺規制）に引き上げました。

その他の火山では、予報警報事項に変更はありません。

つるみだけ がらだけ 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

くじゅうさん 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

あそさん 阿蘇山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）] ←16日に噴火警戒レベルを 1（平常）から 2（火口周辺規制）に引き上げ。

中岳第一火口では、15 日以降ごく小規模な噴火が断続的に発生しています。16 日 10 時 00 分頃に灰白色の噴煙が火口縁上 500m まで上がりました。このことから、中岳第一火口の火山活動は高まっており、中岳第一火口から概ね 1 km の範囲に大きな噴石を飛散させる噴火が発生する可能性があるかと判断し、16 日 11 時 00 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（平常）から 2（火口周辺規制）に引き上げました。中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石注意が必要です。また、火口付近では火山ガスに注意が必要です。

うんぜんだけ 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

きりしまやま しんもえだけ 霧島山（新燃岳） [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）]

新燃岳では、噴火は発生しませんでした。

一方、新燃岳の北西数 km の地下深くのマグマだまりへのマグマの供給は続いており、噴火活動は今後も発生すると考えられます。

新燃岳火口から概ね 3 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。これまでの噴火では、風に流されて直径 4 cm 程度の小さな噴石（火山れき）が新燃岳火口から 10km を超えて降りました。また、爆発的噴火に伴う大きな空振に注意が必要です。噴火警報等及び霧島山上空の風情報に注意してください。降雨時には泥流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報に注意してください。

きりしまやま おほち 霧島山（御鉢） [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

さくらじま 桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）]

昭和火口では、爆発的噴火を含む噴火が 113 回と活発な噴火活動が継続しました。また、31 日に海上自衛隊の協力を得て行った上空からの調査では、昭和火口の火口底に赤熱した溶岩を確認しました。

今回確認された溶岩は少量であり、現在、噴出物量や地殻変動に特段の変化はないことから、大量のマグマが桜島直下に移動した可能性は低く、ただちに火口外に溶岩を流出することはないものと考えられますが、引き続き活発な噴火活動が継続しますので、火山活動の推移に注意する必要があります。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石

及び火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。降雨時には土石流に注意が必要です。

さつまいおうじま

薩摩硫黄島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや高い状態で経過しました。

火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では噴火に対する警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石に注意が必要です。

くちのえらぶじま

口永良部島 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山性微動は今年 1 月以降やや増加しており、GPS 連続観測では、新岳を挟む基線で 2010 年 9 月ごろから緩やかな伸びの傾向が続いていますが、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。ただし、新岳火口内では噴気活動が続いており、火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要です。

すわのせじま

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

御岳火口では、爆発的噴火が 1 回発生し、噴火活動は活発に経過しました。

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いています。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石に注意が必要です。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められず、予報警報事項に変更はありません。